×

ハセガワアユム

ver.3.000

登場人物

元　哲子（30）
・・・　モト冬樹のモトに、哲学の子。独自の哲学を持って「人間座」という堅い劇団を潰す。現在、情緒不安定な主婦

武田信幸（25）
・・・　興信所の若手、尾行が下手ですぐバレるのが悩み

元　宏司（35）・・・　哲子の夫。つまらない男。悪い奴ではない

ツトム（中学生）
・・・　哲子を弄んでいる。精神的なロリコン。病んでる。

ハヤオ（中学生）
・・・　哲子を弄んでいる。同じくロリコンだが環境にうるさい

康夫さん（乞食）
・・・　自然を愛するが故のエコな乞食。川守。元タクシー運転手の過激派

土田（30代）
・・・　シャドーボクシングを河原でやっている自称ボクサー

田村
・・・　カップル男、美容師

亮子
・・・　カップル女、今時の若い女

☒

小屋の内側。哲子がやってくる。
靴を脱ぎ、裸足になり体育座りをする。
どこか渇いた人妻で、色香が漂っている。
その佇まいと不釣り合いの算数のドリルを取り出し、答えを解いてゆく。
ツトムとハヤオがやってきて、緊張の面持ちのまま、彼女の前に座る。
哲子、算数のドリルをツトムにゆっくり返す。

関係の無いため息の後、

哲子　あたし、劇団を一個ブッ潰してんのね。
二人　・・・うん、
哲子　人間座って言ってすっごいカッタイとところにいたんだけど、
ツトム　あ、名前だけは。
ハヤオ　俺も。
哲子　へえ、まあある程度おっきかったからねえ。それがさあ、テレビドラマでやってるような退屈なのが嫌で劇団入ったのに、どうでもいい人間愛をテーマにしてさ、勧善懲悪だの因果応報だのくっだら

ねー要素を、エクレアのチョコみたく薄ーく塗ってんだわ。その癖、裏では先輩風吹かした奴がセクハラとかすごいのね。

二人　・・・うん、

ツトム　ど、どんな？

ハヤオ　（小さく）バカ

哲子　口から泡吹くまでイカせてやるから、家に来いって。

二人　ええ、泡？アワ？

哲子　あ、ごめんね。・・アッタマ来るよね。で、行ったんだけど

ツトム　行ったの？

哲子　行ったよ。ああ、行ったけど、イカなかったけど、

ハヤオ　ええ？

哲子　とりあえず、アタマ来すぎて家に行ってやったの。そしたら全然上手くなくて、またアッタマ来ちゃって。次の日劇団でいいふらしてやったのね。

二人　うん。

哲子　そしたらなんかあたしが悪いみたいな空気が流れてて、そんなお互い様じゃない？だけど庇ってくれた人が居て、その人とも寝たのね。

ハヤオ　なんで？
哲子　ギヴ＆テイク？
ツトム　だ、ダメなんじゃないの！？そんな簡単にセックスしちゃ、
哲子　若かったし、
ツトム　若さ関係なくありませんか？若さが理由ならうちのクラスの女子みいんな、みいんな、
ハヤオ　そうだよ、そうだよなあ、
二人　おかしいですよ！！！
哲子　あ～～、そっか。でもそしたらキリなくなっちゃってすごいことになっちゃって、あたし、あたし何と戦ってたんだろう。

間。

ハヤオ　（腕時計を見て）あの、それで数学の
哲子　（ドリルを渡し）二次関数のとこでしょ、
ハヤオ　（読む）すげえ、
ツトム　頭いいんですね。
哲子　どこかまだ判んなかったら質問してよ、

ツトム　（小さく手をあげ）
哲子　はい。
ツトム　お姉さんは、何で俺らにそんな話をするの？
哲子　・・・普通に生活してたらあたしら接点ある？ないよね？・・ないから言えるんだよ。
二人　・・・
哲子　きみたち童貞でしょ？
二人　な、・・
ハヤオ　まあ、
ツトム　まあ。
哲子　童貞の二人にね、童貞目線からダメ出しして欲しいの。勉強教えてあげる代わりに、あたしにダメ出しして欲しいんだ。さっきみたく。

間。

ハヤオ　もうそろそろ康夫さん帰って来るから（と掃除を始める）。
ツトム　あ、そうだ。
哲子　誰？

ツトム　ここに住んでる人。
ハヤオ　（ツトムに）掃除しろよ
哲子　あんたたち毎日ここで勉強してるの？
二人　ええ、うん。
哲子　また明日も来ていいかな。
ツトム　・・・僕たちでよければ、
ハヤオ　おい、掃除、
ツトム　イてててて、足が痺れて（股間を抑えてる）
哲子　反面教師ね。きみたちはちゃんとした大人になりなよ、テレビドラマに出て来るみたいな。
ハヤオ　あれ、なんだあれ？・・・なんかこっち撮影してるやつがいる。
ツトム　え？（哲子に）
哲子　（それを見て笑い出す）
ハヤオ　隠れた。
ツトム　ダッサ、バレバレ。
哲子　追いかけっこしよっか？かくれんぼ？あいつ捕まえよう。
２人　え、

哲子、走る。
ハヤオとツトムも走るが、ツトムはまだ股間を抑えてうまく走れない。

河に戻り、康夫が寝て、田村と涼子がやって来る。
河の音がする。
河なのだろう。舞台は多摩川。
舞台の真ん中から奥に乞食が住んでいるような廃屋があり、窓がある。
そこはかろうじて上半身のみが見える掘建て小屋に過ぎない。

乞食の康夫が寝ている。

カップルの男女（田村と涼子）がやって来る
ビールやおつまみなどがビニールに入っている。

涼子　見て、夕焼け。
田村　サンセット。
涼子　訳さなくていいよ、ほんと田村くん横文字強いんだから〜。

田村　サンセットビーチ。
涼子　河だぞ、
田村　そうでした（笑顔）
涼子　可愛くないー
田村　バカ、涼子は可愛いよ。
涼子　なんの話？
田村　俺から目線の話。
涼子　死んじゃう。

軽くハグ。付き合いたてのムード。つまみとビールを出す二人。

二人　カンパーイ。（飲む）
涼子　でも、ふふふふ、嬉しいな。
田村　え、
涼子　こうやって夕方からビール飲めるの。
田村　そう？
涼子　うん、幸せ。

田村　空いてるしね。
涼子　平日だから。
田村　まあ美容師ならではだよね。
涼子　はやくカリスマになってよー
田村　涼子は職探せよー
涼子　あたし、仕事向いてないっぽい。
田村　なんだそれ

二人笑う。（書いててむかついてきた）

田村　じゃあ、いっそ永久就職しちゃう？
涼子　え？
田村　（抱き寄せる）
涼子　（照れて）まだ、付き合って半年だよお？それで結婚決めちゃうの？
田村　「急がば回れ」だろ、
涼子　「慌てる乞食はもらいが少ない」だよ、え、ヤダ。
田村　「いやよいやよも好きのうち」だよ、

涼子　え、違くて、・・ちょっと、見てる。

田村　・・・

涼子　あそこにいる乞食の人、さっきから見てる。

田村　え（振り向こうとする）

涼子　振り向かないで。目が合ったら殺される。

田村　乞食でしょ？

涼子　刺激しないで！このまま・・このまま何事もなかったかのように、帰ろ。

田村　来たばっかだぜ！？

涼子　だって、

田村　ビールも飲みかけだし、

涼子　こんなの捨てればいいって！

涼子、河にビールをビニール袋へぐちゃぐちゃに入れて捨てる。
ルンペンが目を強ばらせる。

涼子　あたし、言ったじゃん。小さい頃ああいうルンペンにいたずらされたって話。

田村　ああ、

康夫　コラ！！！！お前らに何やってんだ！コラ！
二人　え・・・
康夫　「え・・・」じゃあないだろコラ！公衆の面前で。そんなことしていいと思ってんのか！ここどこだか知ってんのか！？・・・多摩川だぞ！
田村　・・・知ってます。
康夫　服脱げ。
二人　え
康夫　だから「え」じゃねーからいますぐ服脱げ。
田村　なんなんすか？
涼子　・・・（小声で）いこ
康夫　１０、９、８、
田村　何勝手にカウントしてんすか？
康夫　３、２、
田村　おいおいおい、早めてんじゃねーよ、ルンペン！警察訴えるぞ変態。
康夫　なに？勘違いしてんだ、泳いでゴミ拾ってこいってことだよ！
二人　え、

×

康夫　じゃあ服着たまま泳ぐか？きっと溺れるな！溺れたいか？恋愛だか変態だかわかんねーけどよお、河は清潔に！って書いてあんだろ！な！おじさん間違ってるか？

田村　いえ、

涼子　いこ（小声）

田村　すいませんでした。

康夫　声がチイせえんだよ、ほんとに悪いと思ってんのかコラ！

田村　（大声）すいませんでした！

康夫　・・・おお、服脱げ。

田村　あの、ゴミ、もう流れていってしてまってるような、

康夫　頭も目も悪いんだな、あそこでほら引っかかってんだろ！「拾ってください」って言ってんだろ！

涼子　あの、もうしませんから。

康夫　もうしないって、いましたこと聞いてんだよ！なんで脱げねえ？この彼氏の前じゃいつも裸だろ！

涼子　違います、

田村　すみません、普段はこんなことしないんで、ね、

康夫、大きな長い棒を持って来る。

二人　わあああああ
田村　こ、殺される！

二人、去る。

康夫　誰が殺すか。アホが。

康夫、棒でゴミをひっかけてる。
そこに中学生のハヤオとツトムが入って来る。

二人　康夫さ〜ん！
康夫　おう、
ツトム　釣り？
康夫　見りゃわかんだろ、
ハヤオ　手伝うよ。
康夫　いいって、おまえ身体悪いんだろ？
ハヤオ　自然が一番、身体は二番だよ。

康夫達、ゴミを拾い上げる。なかを漁る

康夫　まったく、最近のバカップルはよお、昼間っからビールなんて飲みやがって、
ハヤオ　缶詰とか捨ててる!許せない。
ツトム　・・・コンドーム入ってる
二人　え!
康夫　あいつら。河で。
ツトム　康夫さん、これもらっていい?
ハヤオ　え?ツトム?
ツトム　康夫さん使う機会ある?
康夫　(すっっごい考えて)無いな。
ツトム　でしょ?ならいいでしょ?
康夫　ツトムはあるのか?
ツトム　え、まだ未定だけど、予定は、
ハヤオ　なに生き急いでるんだよ。
康夫　おまえらまだ中1だろ?

二人　２、２、２、

ハヤオ　２になったんだよ。

ツトム　１４歳。

康夫　どっちみちまだ早ええぞ。

ツトム　早くないよ、少年法だって変わったんだよ。いまなら１４歳でもブタ箱行き。人生捨てれるなら童貞捨てたっていいはずさ。

康夫　そうか。おれもお前らの年の頃は、頭の中がスケベで爆発しそうになってた。

康夫、河に手を入れる。

康夫　もし、そういうときは河を見るがいい。河はいいぞ、ひとを穏やかな気分にしてくれる。汚い自分を浄化してくれるんだな。

ハヤオ　はい！

康夫　よっこいせっと。ちょっと見回り言って来るわ。

ハヤオ　出た、見回り

康夫　バカのせいで最近忙しゅうて。

ツトム　・・康夫さん、今日も小屋の鍵借りていい？

康夫　なんだって？
ツトム　あ、ちょっと期末用にテスト勉強したいんだ。
ハヤオ　無理なら無理で全然、な。
ツトム　図書館満員で。
康夫　はは、いいけど汚いぞ（鍵を渡す）。
ハヤオ　また掃除しとくって、
康夫　ハヤオはほんと綺麗好きだな。
ハヤオ　はははは。
康夫　（去りながら）バカップルみたいな大人になるなよー。
二人　はーい。

康夫、棒をもって去る。

ツトム　うひひひ、ヒヒヒヒヒッ。やったっピュッ。
ハヤオ　なんだそれ。喜び過ぎだって。
ツトム　だって、ハヤオさん優し過ぎんだも～ん。
ハヤオ　元過激派って噂だけどな。

×

ツトム　マジ？元、だからいまは過激じゃねえんだろ？
ハヤオ　ばか、怒ったらマジ恐えじゃん。
ツトム　河さえ汚さなければ平気だよ、いこ。
ハヤオ　ツトムはほんと「勉強」好きな。・・今日も来てるかな？
ツトム　来てるよ、あのひとバカだもん。
ハヤオ　でもなんか恐くね？おれちょっと恐いんだけど。
ツトム　恐いのがいいんだよ（と、携帯を取り出し電話する）
ハヤオ　なんだそれ。大人～（といつつ袋を持つ）アレ？缶ビールのゴミ無くね？
ツトム　康夫さんもってったよ。
ハヤオ　マジ？
ツトム　（電話）あ、もしもしお母さん？うん、僕。ちょっとハヤオくんと図書館で勉強してから帰るから。うん。夕飯遅くていいから、
ハヤオ　（向こうから人が来るのに気づき、小声で）ヤバい。
ツトム　え？
ハヤオ　（小声）土田くん来た。
ツトム　マジで？あー、うん、そんなことないって。じゃあまたね。はーい（慌てて切る）え、どこ？

ハヤオ　ほら、あそこ！（指差し）
ツトム　ばか、指差すなって。失礼だろ
ハヤオ　あ、気づいた。俺あのひと苦手なんだよ。
ツトム　・・シカトして逃げる？
ハヤオ　ヘタに逃げたら追って来るって、隠れよう。
ツトム　どこに？
ハヤオ　（辺りを見渡し）なんもなねえ！河、なんもねえ！

ダッシュで入って来る土田。
シャドーボクシングのまま突っ走って来て、危うくみんなを殴りそうになる。

二人　わあああ（避ける）
ハヤオ　痛ッ（軽く当たる）
土田　（気づかず）わりいわりい。ふ～～ブレイクブレイク。もし当たっちまったらプロ失格だからな。
ツトム　当たってます、
土田　え？

ハヤオ　（手をあげる）

土田　え?かすっただけだろ?オーバーなんだよ、ハハハ
二人　ははは
ハヤオ　土田くんプロになったんだ?
土田　いやまだだよ。予定。
ハヤオ　どっかで聞いたやりとり、
ツトム　筋肉凄いっすね。
土田　まあな。
ツトム　土田くんって童貞いつ捨てたの?
土田　12、
二人　え、中2?
土田　12、小6?
二人　え~~~、すっげええ、
土田　偶然だよ、
二人　偶然?!
ハヤオ　どんな?
ツトム　偶然ってあるんすか?偶然って!?

×

土田　食いつき過ぎ！（ツトムを突き飛ばす）どした？
ツトム　・・・あの、それで、
土田　やべ、もういかなきゃ。（軽くシャドー）
ツトム　あ、頑張って。
土田　（ハヤオに拳を向けて）まだ「痛む」とか言う？
ハヤオ　あ、まあ大丈夫っす
土田　ヨカッタ！じゃあまたな～、中坊ども～

土田、シャドーボクシングをしながら去る。

ツトム　あ～～～～～～～、ちきしょ～～～～土田くんスゲエなあ。
ハヤオ　・・・（鼻をこすってる）
ツトム　伊集院光とかみうらじゅんとか死ねばいいんだよ。
ハヤオ　（ツトムを見る）
ツトム　童貞力っとかいうくだらねー擁護本出しやがって、サブカル野郎どもが・・・俺はさあ、なにも下心だけで童貞捨てたいって訳じゃねーんだよ。（絞り出すように）人生の、意味を知りたい。ヤベ、汚れちった（ズボンをはたく）

ハヤオ　なあ、
ツトム　なに?行こうぜ。もうあの人来てるし。
ハヤオ　あ、うん、俺、鼻血出てる?
ツトム　出てないよ。
ハヤオ　そうだよな。
ツトム　何?
ハヤオ　土田くんのここ（拳）に血付いてたんだけど、
ツトム　・・・気のせいだろ?
ハヤオ　・・・だよな。

夕日が少し明るくなる。

ハヤオ　（発見する）小屋からなんか煙出てる。

ツトム　気のせいじゃなくね?
ハヤオ　気のせいじゃねーよ!
ツトム　康夫さんに電話、
ハヤオ　持ってないって!行こう!

ツトム　え、
ハヤオ　走れ！

二人走る。
小屋の内側から女が出て来てガソリンを撒いてる。
そこにビデオカメラを持った男が走ってやって来る。

武田　バカバカバカバカバカ！！！！
哲子　・・
武田　何やってんだよ。
哲子　・・いい絵が撮れるかなって。
武田　バカ！これもう犯罪だぞ。
哲子　うん、そうだよね。でもあたしそれでもいいかなって、
武田　哲子さんさあ、やめようよそういうの。いいかげん罰（ばち）が当たるって。
哲子　これは罰（バツ）なの。
武田　やめよ！罰でも罰でもどっちでもいいけど、これはやりすぎ。
哲子　そうかな。

武田　うん（ガソリンを奪う）

哲子　でも誰か死ぬ訳じゃないし。

武田　はあ？

哲子　（手のひらに字をかく）こうでもしないと採算とれないというか、辻褄、計算、あれ、ああ、そうだ。清算だ。

武田　本当はただの当てつけなんでしょ、

哲子　罰なんだって。あの人が自覚無いから。（あんたのせいで）哲子はここまで壊れてるんだって思い知らせてやりたいのよ。

武田　そこまでやったら旦那さんの方が壊れちゃうでしょ。

哲子　燃えてもCGかなって思わない？

武田　ほら、もう言ってることが本末転倒だ。どうしたいの？

哲子　ここ燃やすくらいやらないとさ、映像的にオチが付かないと思うんだよ。

武田　オチ？

哲子　そう、一週間の記録としてのオチ。

武田　頭痛くなって来た。（と、腰掛ける）哲子さんはいつもどおり万引きしたり、パチンコしてれば充分だから。オチとかいらない。嘘になる。

哲子　もう半分嘘じゃん。
武田　嘘だけど、見る側が、旦那さんがね、嘘に気づく。
哲子　そっか。
武田　嘘ってバレるのだけはヤバいんだって。
哲子　ほんとは武田くんが頼まれてたのに、あたしに寝返ったんだもんね。
武田　寝返ったって、あれは、もう脅迫。
哲子　・・最後、どうしよっかな、
武田　あのさ、最後とか落ちとか、哲子さんたち夫婦の生活は続いてくわけなんだから。最後とか考えなくていいよ。
哲子　続くのか。
武田　続くでしょ。

間。

哲子　続くかなあ。
武田　なにそれ。
哲子　続くと思う？

武田　なんで。
哲子　因果応報でいったら、やっぱり続けるのと続けないのどっちが正しいと思う？
武田　因果応報？
哲子　悪いことしたら、悪い目に合うって、アレ
武田　ああ。
哲子　その逆も、良いことしたら良いことが帰って来るアレ
武田　それ違くない？
哲子　世の中無茶苦茶じゃん。迷惑かけてるやつがのうのうと生きてたり、いいひとが自殺したり、救急車が人ひき殺したり、なのにさ、テレビつけても本屋行っても安い勧善懲悪やってて
武田　建前ね、全部建前があるわけだから。
哲子　建前どおりやられてもさ、頭来るじゃん。
武田　でも、せめて信じたいでしょ。世の中がそうだから、逆にシンプルなものみてスカッとしたいわけ。
哲子　（大袈裟に）そおか？
武田　せめてそうじゃないと救われないでしょ。
哲子　武田くん！若い子の意見聞かせて、参考になるからそういうの！

×

武田　んんん、なんの話？？？

哲子　因果応報からいつから抜け出せるんだろうって話。

間。

武田　じゃあとりあえず、駅前戻って、パチンコしてる絵撮って終わりにしよう。

哲子　そんなので終わり？

武田　スーパーで万引きしてるとこでもいいよ。

哲子　弱い。

武田　じゃあどうしたいんだよ！・・回りくどいって。直接言えばいいだろ。

哲子　言ってるよ、言ってるけど、伝わらない。言葉だけじゃリアリティ足りないんだって。

武田　振り回される身にもなれよ！

哲子　あ、怒った？武田くん、怒ってる？・・好きになっちゃった？あたしのこと好きになっちゃった？

武田　（言葉にならない無言）え？

哲子　無関心だったらそこまで怒らないでしょ？あたしのこと好きになっちゃったから、怒ってるんだよね？

武田　違う、

武田　なに？

といつつ、武田はスイッチが入ったかのように哲子ににじり寄る。

哲子　・・・

武田　なになになに？

哲子、武田に追われるように小屋を出てゆく。武田、追う。

明転。シーンチェンジで河に戻る。

田村と涼子が戻って来る。

田村　殺す。

涼子　田村くん、

田村　絶対殺す。

涼子　田村くんって。きっと人違いだよお。

田村　涼子が言い出したんだろ?あの乞食のこと。

涼子　そうだけど、もうすごい前のことだし。

田村　前とか後ろとか関係なくね？おれ、涼子が陵辱されたこと絶対許せねえって。
涼子　いたずらだよ、
田村　日本語って難しいな！（腰の辺りを探し）クソ、なんで俺今日挟み持ってねえんだ。
涼子　休日だからだよぉ。
田村　ちくしょー、このままじゃ腹の虫が収まらねえよ。
涼子　・・嫉妬？田村くん嫉妬してるの？
田村　嫉妬とかじゃあなくて、嫉妬？いや、ちょっと違う、でも許せない。許せないだろ？涼子にいたずらしたやつが、いまじゃ河でのうのうとルンペンやってるなんて。
涼子　天罰下ってるって、ルンペンだもん
田村　そうかな、
涼子　・・・そうだよ、ダサイじゃん。トラウマ背負ってる奴って。痛いし。あたしそういう奴になりたくない。
田村　涼子。絶対結婚しような。

二人、抱き合う。
そこに土田がシャドーボクシングしながら入って来る。
道を避けようとすると、二人が偶然動き道を塞ぐ。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

×（おためしサンプル）

2012年2月6日　初版発行
2012年2月6日　改訂（ver.3.000）

著　者　　ハセガワアユム　ⓒ 2012年

発行者　　石村寛之

発行所　　有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話　0422-49-2903